

書店と地域の未来に



ついて語る座談会

令和6年 **10.3** 木 13:00-14:30 @ 広島Camps
広島県広島市中区紙屋町143エフケイビル1F



開催趣旨

「書店」は本を通じて多様な知識、カルチャーに触れることができる貴重な場所です。また、地域コミュニティに根差した「まちの文化拠点」としての機能を果たして来た場所でもあります。そんな書店が近年、様々な事情で街から姿を消しつつあります。改めて今、書店の魅力やこれからのあるべき姿について掘り下げて発信するため、多様な視点からディスカッションいただく座談会を開催します。

登壇者



佐々木 茂喜氏

オタフクホールディングス株式会社 代表取締役
広島県観光連盟会長、中国地域NBC会長。その他広島で多くの公職を歴任。子供の頃から読書が趣味で、小学校時代にジュール・ヴェルヌ全集を読破。就職後にも沢木耕太郎、椎名誠、高杉良他多数の著者の作品を愛読し続けている。



手塚 淳三氏

株式会社啓文社 代表取締役

広島県出身、ルイジアナ州立大学文学部卒。平成12年、尾道市に本社を置き、広島・岡山の両県に書店を展開する啓文社に入社。平成17年より現職を務める。



谷口 千春氏

ミナガルテン 代表

東京大学大学院修了。幼少期より作曲・漫画・演劇などの創作文化活動に親しむ。2020年春に帰広、実家の園芸事業跡地を活用したまちづくり事業「ミナガルテン」を立ち上げ、その中でシェア型本屋を運営中。



迫 姫華氏

STU48

広島県出身。ニックネームは「ひめたん」。第2期生オーディションに合格してSTU48に加入。趣味はゲームと読書で、自身で小説も執筆している。



山崎 未侑氏

安田女子大学 文学部

幼い頃からの本好き。現在は様々な古本屋に行き、お宝探しをすることが趣味。大学では日本現代文学を専攻しており、向田邦子文学について研究している。



ファシリテーター

實國 慎一 中国経済産業局長

広島県出身。生来の積ん読派だが、結婚を機に場所と時間は有限と諭され、自宅で眠ったままの本に光を当てる作業を継続中。ただ、本屋で一目惚れし即買いすることもあり、作業は順調に進まず。

書店と地域の未来について語る座談会

観覧申し込みについて

- ・観覧を御希望される場合は、下記問い合わせ先に9月30日（月）までに氏名・電話番号をご記載の上メールにてご連絡ください。
- ・申込数が定員（20名程度）に達した場合は、応募を締め切る場合がございますのでご了承ください。
- ・座談会の模様は中国経済産業局で撮影し、後日経済産業省のyoutubeチャンネルにて公開する予定です。映像内に写る可能性がありますことをご了承の上、お申し込みください。

取材について

- ・取材を希望される場合、下記問い合わせ先にその旨を明記して社名・氏名をご記載の上9月30日（月）までにメールにてご連絡ください。
- ・開会から終了まで全内容について取材いただくことが可能です。
- ・終了後、登壇者及び中国経済産業局長が個別に取材に対応する時間を設ける予定です。

問い合わせ先

中国経済産業局 書店振興プロジェクト事務局（産業部 流通・サービス産業課内）

担当者：高橋、伊東 電話：082-224-5655 メール：bzl-cgk-sa-bisu@meti.go.jp

●個人情報の扱いについて

いただいた個人情報につきましては、本座談会開催以外の目的には使用いたしません。

